

1. 計画の達成目標

(1) 広域交通に関する達成目標

| ① JR 東海、名鉄の利用者数                                  |              |                                   |
|--|--------------|-----------------------------------|
| 【算出方法】<br>県内乗車人員（JR 東海在来線全駅＋新幹線駅＋名鉄全駅）           | 現状値          | 6,699 万人（R1 年度、コロナ禍前）             |
|  | 目標値          | 6,699 万人以上（R8 年度）                 |
|  | 目標設定<br>の考え方 | JR 東海・名鉄の利用促進に取組み、コロナ禍前の水準以上を目指す。 |
|  |              |                                   |
| ② 地方鉄道の利用者数                                      |              |                                   |
| 【算出方法】<br>地方鉄道 4 社の合計輸送人員                        | 現状値          | 798 万人（R1 年度、コロナ禍前）               |
|  | 目標値          | 798 万人以上（R8 年度）                   |
|  | 目標設定<br>の考え方 | 地方鉄道の維持確保のため、コロナ禍前の水準以上を目指す。      |
|  |              |                                   |
| ③ 広域バスの実車走行キロ当たり輸送人員                             |              |                                   |
| 【算出方法】<br>補助対象系統の合計年間輸送人員<br><br>補助対象系統の合計実車走行キロ | 現状値          | 0.68 人/km（R1 年度、コロナ禍前）            |
|  | 目標値          | 0.68 人/km 以上（R9 年度）               |
|  | 目標設定<br>の考え方 | 広域バスの維持確保のため、コロナ禍前の水準以上を目指す。      |
|  |              |                                   |
| ④ 広域バスの利用者 1 人当たりの県負担額                           |              |                                   |
| 【算出方法】<br>県補助額合計<br><br>補助対象系統の合計輸送人員            | 現状値          | 71.1 円/人（R1 年度、コロナ禍前）             |
|  | 目標値          | 71.1 円/人以下（R9 年度）                 |
|  | 目標設定<br>の考え方 | 広域バスの維持確保のため、コロナ禍前の水準以上を目指す。      |
|  |              |                                   |

(2) 地域内交通に関する達成目標

| ① 地域公共交通計画策定済みの市町村数  |          |  |  |
|--|----------|--|--|
| 【算出方法】<br>「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく地域公共交通計画の策定市町村数<br>※将来的には全市町村での作成を目標とするが、計画期間中は、自主運行バスを運行する全ての市町村又は共同して地域公共交通計画を策定している市町村を目標とする。 | 現状値      | 26 市町村（R4.3 時点）                                  |  |
|  | 目標値      | 31 市町村（R6.6）                                     |  |
|  | 目標設定の考え方 | 国庫補助金における要件の猶予期間である令和 6 年 6 月までにフィーダー補助を受ける市町村全て |  |
|  | 目標値      | 37 市町村（R9 年度末）                                   |  |
|  | 目標設定の考え方 | 自主運行バスを運行する市町村又は共同して地域公共交通計画を策定している市町村の全て        |  |

(3) 活性化に関する達成目標

| ① GTFS データ整備済み市町村の割合  |              |  |
|---|--------------|--|
| 【算出方法】<br><br>整備済み市町村数<br><br>自主運行バス（定時定路線）を運行する市町村数                | 現状値          | 57%（R4.7 時点）   |
|   | 目標値          | 100%（R8 年度末）   |
|   | 目標設定<br>の考え方 | 観光利用が見込まれる路線を優先して、整備していく。令和8年度末までに、すべての路線（地域住民の利用を優先するなど、市町村が周知不要と考える路線は除く。）を整備する。 |
| ② 乗合バス車両に占めるノンステップバス車両の割合   |              |  |
| 【算出方法】<br><br>ノンステップバス車両数<br><br>乗合バス総車両数から移動円滑化基準適用除外認定を受けた車両を除いた数 | 現状値          | 42.9%（R2 年度末）  |
|   | 目標値          | 70.0%（R8 年度末）  |
|   | 目標設定<br>の考え方 | 公共交通機関における移動の円滑化を促進するため、継続した改善を目指す。  |

(4) 計画全般に関する達成目標

| ① 観光客の公共交通利用率  |          |   |
|--|----------|---|
| 【算出方法】<br>観光入込客統計調査の利用交通機関別 観光入込客数のうち、「新幹線、その他の鉄道、路線バス」の割合 | 現状値      | 9.8%（R1 年、コロナ禍前）  |
|  | 目標値      | 9.8%以上（R8 年）  |
|  | 目標設定の考え方 | 計画の施策全体の効果を評価するための指標とし、利用率の向上を目指す。コロナ禍の影響を受けていると考えられるため、コロナ禍前の水準以上を目指す。 |
| ② 公共交通に対する県民満足度  |          |   |
| 【算出方法】<br>県政世論調査において「県の取組でよくやっていると思う分野」の「公共交通の充実」の割合       | 現状値      | 5.5%（R3 年度）   |
|  | 目標値      | 5.5%以上（R9 年度）   |
|  | 目標設定の考え方 | 計画の施策全体の効果を評価するための指標とし、満足度の向上を目指す。                                      |